

グリーンハート

No. 112 8月号 発行日 平成27年8月20日



パキラのカラーサンドアレンジ教室（活動報告）

～南区高木小学校留守家庭子ども会～

《緑のコーディネーター 渡辺しおみさん》

【日時】8月3日（月）10:30～12:00
13:30～15:00

高木小学校留守家庭子ども会様からのご依頼で、夏休みの活動の中で子ども達に、植物に関する体験講座を…という事で、パキラを植えこんで、カラーサンドのワークショップを行いました。

参加人数は当初120名の予定でしたが、欠席児童もあり、午前・午後合わせて80名程度の子供達が制作しました。

今回は人数も多いので、スムーズに進行できるように、先生方との打ち合わせも何度か重ねました。管理のしやすさ、見映え、植え込みのやりやすさから、植物はパキラを選びました。

まず、パキラの土を落とシグラスへ。そして10色のサンドを紙コップに入れ、トレーにたくさん並べ、子ども達の机をまわり、4色選んでもらいます。

講師のデモの後、自由に模様を重ねて楽しんでもらいました。仕上げにピックや、色砂をのせて、最後にお水を入れると完成です。

午前中は高学年をメインに2年生まで。さすがは高学年、時間をかけ、それぞれが、こだわりのある個性豊かな作品を作りました。

午後は人数が多い1年生。最後の仕上げで、お水を入れるとサンドの色があざやかに浮き出て、その変化に「わぁ～スゴイ！きれいだね」とかわいらしい歓声が一斉に上がったのが印象的でした。

※午後の講座には、緑のコーディネーター 渡辺清子さんの応援がありました。



作り方を説明



好きな色を4色選びます



カラーサンドを入れていきます



色鮮やかな作品が完成

福岡市内の小学校留守家庭子ども会に「緑のコーディネーター」のチラシを配布したところ、「夏休み期間中に緑の講座をしてほしい」と5校から依頼がありました。植物にふれる機会が少ない子ども達が多く、みんな楽しそうに作品を作っていました。
(事務局より)

目次

- パキラのカラーサンドアレンジ教室 1
- コケ玉教室 2
- ペットボトルの「花育」授業
- 緑のコーディネーターによる体験講座
 - エアープランツのアレンジ 3
- ボランティアルームを開設
- 緑のコーディネーターによる体験講座
 - ハーブの料理教室 4
- 那珂川町町民によるゴーヤ収穫祭 5
- 元気な夏花壇
- 北海道ガーデンショー2015 6
- ドイツ紀行
- 緑のコーディネーター養成講座ニュース 7
- 花王・みんなの森づくり活動助成のお知らせ
- ふくおか花と緑の連絡会から講座のお知らせ 8
- 植物園からのお知らせ

（発行元／事務局）

福岡市住宅都市局
みどりのまち推進部
みどり推進課
TEL：711-4424
FAX：733-5590
（公財）福岡市緑のまちづくり協会 みどり課
メールアドレス：
anju.t@midorimachi.jp
TEL：822-5832
FAX：822-5848

こけ玉教室（活動報告）

～東区東箱崎小学校留守家庭子ども会～

《緑のコーディネーター 井上妙子さん》

【日時】8月10日（月）13:30～14:30

【担当】山崎博子・井上妙子

【サポート】田中節子・梅津正子

【参加人数】36名（55名で依頼を受ける）



こけ玉の作り方を説明

学童保育の子ども達に「こけ玉づくり」をしました。植物は花の咲いた物と言われましたが、夏場に花の咲く植物は太陽が必要で、苔にとっては悪いため、室内向けの観葉植物にしました。

小学1・2年生が多く、手も小さいので、ケト土はビニール袋の上に広げて、ビニール全体で包み込んで固く握り、少しずつビニール袋をはがして、手で丸く形を整え、ケト土の上を筆でふのりを全体にたっぷり塗りつけ、苔を貼っていき、軽く黒糸を巻きました。

小さな手でも上手に「こけ玉」が出来ました。こけ玉作りが終わった後は、無邪気に遊んでいる子ども達を見ていると心が和みました。



ケト土で丸く包んで形を整えます



ふのりを塗って苔を貼ります



観葉植物のこけ玉が完成

ペットボトルハンギングの「花育」授業（活動報告）

～南区弥永西小学校～

《緑のコーディネーター 石井康子さん》

6月12日（金）福岡市立弥永西小学校3年生と、その保護者に「花育」の授業をしました。学校環境作りに熱心な校長先生の下、保護者や先生方と校門前花壇や玄関コンテナ作りに日頃よりボランティアで参加しています。そのご縁で「花育」授業が実現しました。

3年生は2クラス合わせて80名くらいです。2ℓのペットボトルにベゴニア センパフローレンスを3コ植えました。「エコ・簡単・素敵」三拍子揃った作品です。

1組の花色は赤&白、2組はピンク&白。親子で楽しい作品作りとなり、出来上がりには歓声があがるほど嬉しそうでした。作品はクラス単位で中庭に飾り、子ども達が毎日様子を見て育てています。

「花育」は次のような効果があります。1、感謝する気持ちを育む。2、優しい気持ちを育む。3、研究心や創造力を育む。4、人とのつながりをひろげる。5、家族、友人、近隣など周囲への波及効果の期待。

学校花壇活動をしながら、「花育」をますます広めていきたいと思えます。

親子のはじける笑顔、先生方、アシスタントの仲間3人に、ありがとう！の「花育」でした。



親子で参加した「花育」授業



色違いの作品が完成



弥永西小学校の玄関

緑のコーディネーターによる体験講座(活動報告)

■エアプランツのアレンジ

《緑のコーディネーター 折井由記子さん》

【日 時】 7月4日(土) 14:00~16:00
【場 所】 西市民センター 実習室
【講 師】 折井由記子 西 淳子
【参加人数】 23名
【参加費】 1,500円



エアプランツの特性
を説明



エアプランツをワイヤーでコルク
に固定する

エアプランツをインテリアとして取り入れて、楽しんでもらえるように2タイプにアレンジしてもらいました。

まずプリントを使って、エアプランツの特性を説明し、皆さんがエアプランツに対して持っているイメージ“水がいらぬ”を払拭してもらいました。

それから3つの作品作りにチャレンジ！1つ目はサンキライの蔓でできた球状の籠の中にエアプランツを入れ、吊り下げられるように、麻ひもを取り付け完成。

2つ目は着生するようにコルクにエアプランツをワイヤーで固定し、吊り下げタイプのガラスの器に入れて完成。2つではバランスが悪いので、同じ吊り下げタイプのガラスの器にネルソル（水で練って固まる土）で固めた多肉植物2個も入れて完成させました。

色々な種類のエアプランツを触って、見ていただいて喜んでもらいました。作品例も何種類か見ていただいたので、参考になったかと思ひます。

今回の作品はエアプランツを枯らさずに長く楽しんでもらえるように工夫しました。扱いに慣れてきたら、もう少し複雑な作品にも挑戦されてみるのも良いと思ひます。

個人で購入するには、まだお高いエアプランツですが、今回の講座でお手頃に楽しんでいただけて、とても良かったです。



多肉植物を2コ並べた作品



吊り下げタイプの3つの
作品が完成

「ボランティアルーム」を開設しました！

【場 所】(公財) 福岡市緑のまちづくり協会
福岡市早良区百道浜2-3-26 (福岡タワーセンタービル2F)
【開設時間】 月~金 9:30~17:00
【休館日】 土・日・祝日・年末年始(12/29~1/3)
【対 象】 緑のコーディネーター、地域の森・花づくり活動団体
【収容人数】 15名程度
【利用できる設備】 パソコン(インターネットにつながっています)
湯呑み、ポットなど
コピーが必要な場合はお申し出ください。

【申込方法】 TEL、FAX、メールでお申込みください。(先着順になります)
利用内容、利用時間、人数をお知らせください。

【申込先】 (公財) 福岡市緑のまちづくり協会 みどり課
TEL: 822-5832 FAX822-5848
Email:mms@midorimachi.jp



8/11「テラス花壇」のデザイン
打ち合わせで利用されました。

緑のコーディネーターと地域の森・花づくり活動団体の皆さまが、打ち合わせや資料作り等に自由に使える部屋として、福岡市緑のまちづくり協会内に「ボランティアルーム」を開設いたしました。どうぞ活用ください。

緑のコーディネーターによる体験講座(活動報告)

■ハーブの料理教室



ハーブの効用と本日の料理の作り方を説明

《緑のコーディネーター 長村慶子さん》

【日 時】7月18日(土) 10:00~13:00

【場 所】あいにふ9階 調理室

【講 師】長村慶子 田中寿子

【参加人数】15名 【参加費】1,500円

【メニュー】①ポークピカタのローズマリー風味 ②ジャケットポテト(タイム入り)

③夏野菜ときのこのマリネ(タラゴン入り) ④コーンライス

⑤ハーブ入り焼き菓子とフレッシュハーブティー

◆料理にはフレッシュハーブ・ドライハーブ・スパイス等を使用しました。

“私たちの暮らしに役立つ香りある植物”ハーブを使って手軽に出来る料理を作りました。

ハーブやスパイス等の名前は知っていたり、実際に育てていたりするけれども、使い方が良く分からなかったりして、料理に使う機会があまりない方達も参加されていましたが、今回の体験講座で実際に触れたり、利用法が分かって良かったと話されていました。

「次の機会を楽しみにしています！」との声が聞けて嬉しく思いました。

【ポークピカタのローズマリー風味】



塩・こしょうした豚ロースを卵液にくぐらせ、ローズマリーで香りづけしたオリーブオイルで焼く。



ポークピカタ用の、オレガノ入りトマトソースを作る。

【ジャケットポテト(タイム入り)】



ジャガイモをオーブンで加熱する。



シーチキン・ミックスビーンズ・タラゴン・塩・こしょうで味付けし、十字に切り込みを入れたジャガイモにのせ、最後にカテージチーズをのせる。

【夏野菜ときのこのマリネ】



短冊に切った野菜ときのこを炒める。



マリネ液に浸し味をなじませる。

【コーンライス】



コーン缶の汁を切りが-リッパ-の-ドライパ-の素を入れて炊く。

【すべての料理が完成】



フレッシュハーブティーとデザート焼き菓子も添えて完成。(焼き菓子は講師が自宅で焼いてきました)

【グループごとにおいしく試食】



那珂川町民によるゴーヤ収穫祭

～主催：那珂川町役場環境課～



《緑のコーディネーター 山川昇一さん》

【日 時】8月9日（日）10:00～11:30
【場 所】那珂川町役場庁舎内
【ゴーヤ収穫】25個
【料理講師】片山さん（女性）那珂川町在住
【参加人数】11名

8月9日（土）、朝から強い日差しが照りつける中、那珂川町役場環境課主催の、町民を対象にしたゴーヤ収穫祭が催されましたので、その様子を山川がレポートします。

当日、参加された町民の方々は、5月に行われた庁舎内で育てるゴーヤの土作り・種蒔きや水やり担当をされた方々が招かれ、収穫したゴーヤを利用したゴーヤジュース等を作って楽しみました。

役場では、庁舎の窓辺に大型プランターにゴーヤを植えて、冷房効率を図ると共に、緑のカーテンとしての見た目の涼しさを、役場を訪れた町民に感じていただこうと、毎年植えられています。

収穫祭では参加者全員で、大きく青々と実ったゴーヤを収穫し、ちびっこ達から歓声があがっていました。25個収穫し、料理講師の片山先生に収穫したばかりのゴーヤを使ってゴーヤジュースを作っていただきました。ジュースは、他にパイナップル、バナナ、牛乳をミキサーで混ぜたものですが、4種類が微妙にミックスされて、とても美味しくいただきました。

その他、片山先生からは、ゴーヤ茶・ゴーヤ漬け・ゴーヤ梅干し漬け等の作り方講習があり、食材としてのゴーヤの魅力を再発見しました。

私は健康食品として優れたゴーヤを食べて、この厳しい暑さを乗り切ろうと思っています。

那珂川町役場から、ゴーヤ植え付けの指導を緑のコーディネーターをお願いしたいと依頼があり、山川さんに、土づくり・植え付け・水やり等の指導をしていただきました。（事務局より）



ゴーヤ収穫祭に参加した
那珂川町民のみなさん



パパ、ゴーヤ採ったよ！



ゴーヤジュースを作っています

【元気な夏花壇】

7月末から急に暑くなり、緑の活動団体の皆さまは、水やりにご苦労されていると思います。

調査等で市内を回った際は、みなさんの花壇は元気かな？といつも思っています。

最近、見させてもらった花壇を紹介します。

※まだまだ暑い日が続きます。
どうぞお体ご自愛ください。



人参公園を愛する会



西長住蓮の花会



板付南3区 老人会「悠生会」



舞鶴公園フラワーボランティア

北海道ガーデンショー2015

《緑のコーディネーター 松永加代子さん》

北海道ならではの花と草原、森と山が集中している大雪・富良野・十勝を結ぶ全長250kmを行くツアーに参加しました。独自の気候風土のなか、雄大な自然美を誇る庭を満喫してきました。

1. 六花の森 2. 紫竹ガーデン 3. 十勝ヒルズ 4. 真鍋庭園
5. 十勝千年の森 6. 風のガーデン 7. 上野ファーム 8. 大雪森のガーデンの八箇所を巡りました。

今年の「北海道ガーデンショー」は5月30日～10月4日まで開催されています。

始まりは2004年「ガーデンアイランド北海道」120の個人庭で発足。2009年にその中の七つの庭が結ばれガーデン街道に。2012年に初のガーデンショーが開催され今年で4回目を迎えます。山・森・里を満喫できる大規模なイベントです。

親族三人ばっちゃんで行って来ました。情報を得て数年「レンタカーでいつか？行こうよ」「歳を重ねると無理か？」やっぱりバスツアーで、やっと実現させました。

有名な場所は外国人だらけで、日本人が少なく感じる近年の旅行。今回のツアーの中でも富良野はすごかった。スケールの大きさと色鮮やかな花に圧巻されました。その他の場所は時間帯をずらした行動パターンで、天候にも恵まれて最高でした。

秋9月も又違った彩りが見られるでしょう。どらえもんの道具“どこでもドア”があれば、すぐにでもリピートしたい景色と風の香り。来年まで待たなくてもお勧めです…花好きさん達。

かわいい写真の赤い帽子さん。63歳から庭作りを始めた、紫竹ガーデンのオーナーさん。有名ですよ～もう90歳くらいかな？可愛い方でした。



紫竹ガーデンのオーナーさんと



上野ファーム



風の丘ガーデン

ドイツ紀行

《緑のコーディネーター 吉松晃子さん》

7月下旬にドイツを訪ねました。フランクフルトから、東のベルリン・ドレスデン方向に車を走らせ、メルヘン街道・ゲテ街道沿いの小さな街を見て回りました。

速度無制限のアウトバーンでは、時速160キロで走行しても、プーンプーンと追い抜かれます。日本の高速道路と違い、通行料は無料ですが、休憩所のお手洗いは有料で、0.71-0 (約100円) が必要です。支払ったお金で衛生管理をしてもらい、気持ちよく利用した後は、このチケットが買い物値引き券 (0.51-0) になります。

滞在中は上着が要るほど涼しい20度前後の気温。北海道よりも北に位置するので夜9時まで外は明るく、夕食後も散歩が楽しめました。



古城ホテルに続く庭と森



手入れの行き届いた花壇



窓辺の花飾り



出窓が顔に見えるお城の屋根

どの街を訪ねても、ゴミひとつなく、石畳の道もきれいで、余計な宣伝広告もなく、街の中心マルクト (マーケット) 広場には、教会と市庁舎があり、街全体が統一されていました。

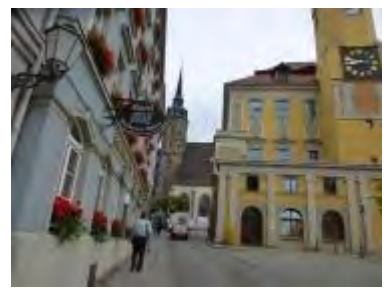
美しい風景の中で、目の保養をさせてもらった旅となりました。



中世の木骨組が美しい家並み



紫陽花が咲き誇っていました



市庁舎と教会

「緑のコーディネーター養成講座」ニュース

6月9日から始まった「緑のコーディネーター養成講座」も前半の座学が終わりました。受講生の皆さんは毎回熱心に受講されています。第2回の「ようこそ先輩」に引き続き、緑のコーディネーターが講師として、第3回「地域における市民活動」では古荘浩士さん、第5回「まちにうるおいを」では石井康子さん・吉松晃子さんに話をいただきました。

■第3回「地域における市民活動」古荘浩士さん

子ども病院や九大・馬出フラワーボランティア、園芸福祉ふくおかネットなど多くの活動に参加しています。自ら立ち上げた団体や、病院移転により消滅した団体など様々な活動を経験してきました。

子ども病院の活動をきっかけに、福祉や大学生との連携など地域的な広がりをもった活動になり、校区や市を越えての活動に展開しました。



■第5回「まちにうるおいを」石井康子さん

花のまちづくりで大切にしていること

①仲間を増やす

②個人からはじまる

③テーマ、コンセプトを決める

自宅のベランダや玄関の植栽にもコンセプトを決めて花を飾っています。小・中・高校で花壇を作る際も、歴史や文化に沿って構成しています。街なかの花壇づくりでは、様々な人と関わりながら活動を行っています。



■第5回「まちにうるおいを」吉松晃子さん

住んでいたマンション前の花の手入れを行った事が、花の活動を始めたきっかけでした。養成講座を受講して、緑のコーディネーターになってからは、どんどん活動の場がひろがり、仲間も増えていきました。

引越し先の朝倉では、花飾りがきっかけで、地域の方から声をかけられ交流が深まっていきました。

養成講座ではリーダーとしての立ち位置が分からず逃げ出しましたが、相談することで解決しました。



「花王・みんなの森づくり活動助成」助成対象団体の募集（情報提供）

公益財団法人都市緑化機構では、花王株式会社との共催により、次の世代により良い環境を引き継ぐことを目的に「花王・みんなの森づくり活動助成」を創設し、支援してきました。

本助成プログラムでは、「森づくり分野」（＝環境づくり）と「環境教育分野」（＝人づくり分野）の2つの柱で、3年間にわたり NPOや市民活動団体を支援します。

下記のホームページ上から応募要項及び申請書の書式がダウンロード可能です。

◆お問い合わせ・お申し込みは下記まで

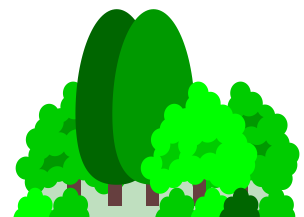
公益財団法人 都市緑化機構花王・みんなの森づくり活動助成事務局

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-4 田村ビル2階

TEL：03-5216-7191 FAX：03-5216-77195

URL：<http://www.urbangreen.or.jp/>

E-mail：midori.info@urbangreen.or.jp



「ふくおか花と緑の連絡会」(はなのれん)からのお知らせ(情報提供)

■季節のお花でフラワーボックス

15cm四方の可愛いボックスにフレッシュなお花をアレンジします。
初心者向けの簡単な講座なのでお気軽にご参加ください。

【日時】9月26日(土) 13:00~14:00

【会場】警固公園安心安全センター(中央区警固2-2-31)

【会費】1,000円 【定員】先着12名

【締切】9月12日(土) メールまたはFAXでお申込みください。

【その他】花切りバサミをお持ちの方はご持参ください。

お申込み・お問合せ 担当:石橋 E-mail:inopi13@i.softbank.jp FAX:092-633-2956



福岡市植物園からののお知らせ(情報提供)

こんにちは福岡市植物園です。

8月の毎週土曜日と9月1・2週目の土曜日は『夜の動植物園』を開催しています。今年は夕方閉園せずに、そのまま21時まで開園します(入園は20時30分まで)。夜にしか咲かないオオマツヨイグサや夜咲き熱帯スイレンなどを見ることができ、園路に設置したヨルガオのアーチや約500個の灯明が美しく夜陰に浮かび、温室へと導いてくれます。また、夜の動植物園開催中は、無料シャトルバス“Zooバス”を運行しています。ぜひご利用ください(詳細は下記のとおり)。

また、昼間も温室ギャラリー室でアサガオ展を開催しています。色々な咲き方のアサガオや、変化アサガオを約20種展示しています。ぜひ植物園にお越しください。



オオマツヨイグサ



熱帯スイレン(レッドフレア)



変化アサガオ

○展示会

- ・アサガオ展 7/22(水)~8/30(日)
- ・秋の野鳥写真展 9/1(火)~9/13(日)

○講座

- ・植物観察会【野草】9/19(土)開催(×切9/5(土))
- ・キッチン・ハーブの寄せ植え9/25(金)開催(×切9/11(金))
- ・ハーブの効用 10/3(土)開催(×切9/19(土))
- ・旬の植物ガイド 10/10(土)開催(×切9/26(土))

植物園ホームページ <http://botanical-garden.city.fukuoka.lg.jp/>

※今年の6月で福岡市植物園は開園35周年を迎えました。

☆『無料シャトルバス“Zooバス”』

○運行日: 夜間開園期間中

○ルート: 地下鉄七隈線『六本松駅』①番出口 ⇄ 動植物園(植物園正門)

※桜坂駅からは運行しておりませんのでご注意ください

○運行時間: 15:00~21:15(約15分間隔で運行)

・六本松駅始発 15:00

・動植物園最終 21:15

○駐車場が少ないため、公共交通機関のご利用にご協力ください。

○地下鉄七隈線と無料“Zooバス”をご利用の方は団体割引料金でご入園頂けます

(通常大人400円→320円・高校生200円→160円)

